

2006年9月29日

『CSR Report 2006 企業の社会的責任報告書』

発行のご案内

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（以下、セブン&アイHLDGS.東京都千代田区代表取締役社長：村田紀敏）では、2006年度版『CSR Report 2006 企業の社会的責任報告書』を発行いたしました。

記

【本年度の特色】

私たちは、企業として健全で持続性を備えた成長を図っていくには、社会、個人と企業活動との関わりをCSRの視点からつねに点検し、自己革新を図っていくことが不可欠と考えております。そのため、セブン&アイHLDGS.は、諸種の情報開示を通じて透明性の高い経営に力を注ぐとともに、店舗、売場など各事業現場におけるステークホルダーとの日々の対話を重視し、私どもの事業を取り巻く社会的課題等に関して多くのステークホルダーの皆様と問題意識を共有し、実効性ある対応を図るべく力を注いでいます。

今回で第2回目となるCSR Reportは、さまざまな社会的課題を整理し、課題に対するセブン&アイHLDGS.の方針および各事業会社での取り組みを検証し、その結果を報告しております。

また今年度はセブン-イレブン、イトーヨーカドー、デニーズに加え、ミレニアムリテイリング（そごう・西武百貨店）及びヨークベニマルを含めた報告書となっております。



【コンテンツ】

社会的課題をステークホルダー別に整理し、グループの方針及び代表的な取り組みを報告しています。

お客様----- 『商品の安心と安全』、『店舗の安心と安全』、『多様なお客様への配慮』

お取引先----- 『公正な取引の徹底』、『お取引先との共存共栄』

地域社会----- 『地域貢献』、『社会・文化貢献活動』

社員----- 『多様性の尊重』、『人権の尊重』、『エンプロイアビリティ（就業能力）の向上』
『安全と健康の維持』

環境----- 『地球温暖化の防止』、『廃棄物の削減』

これからもさまざまなステークホルダーの皆様との関係のあり方を深く考え、継続的に対話を実施すると同時に、報告書等の情報発信を通じて社外への説明責任を果たしながら、セブン&アイHLDGS.の社是に掲げる「誠実さ」を基本に、持続的に企業価値と株主価値の向上に努めてまいります。

以上